





「生活費がさあ……
ないんだよ……」

彼女らは貧乏だった

「なやみ〜?」



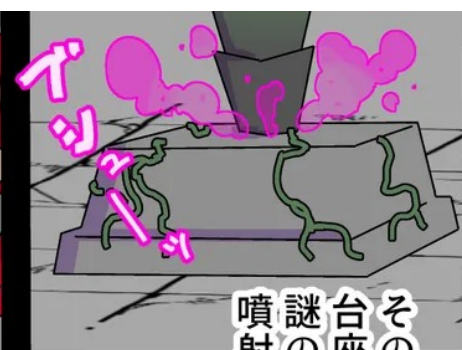
マイン(妹)

エナ(姉)

以前入った洞窟で
改造されまくった体を
元に戻す際に
莫大な借金をしたので
金が必要になった

この姉妹が未踏のダンジョンに入る理由



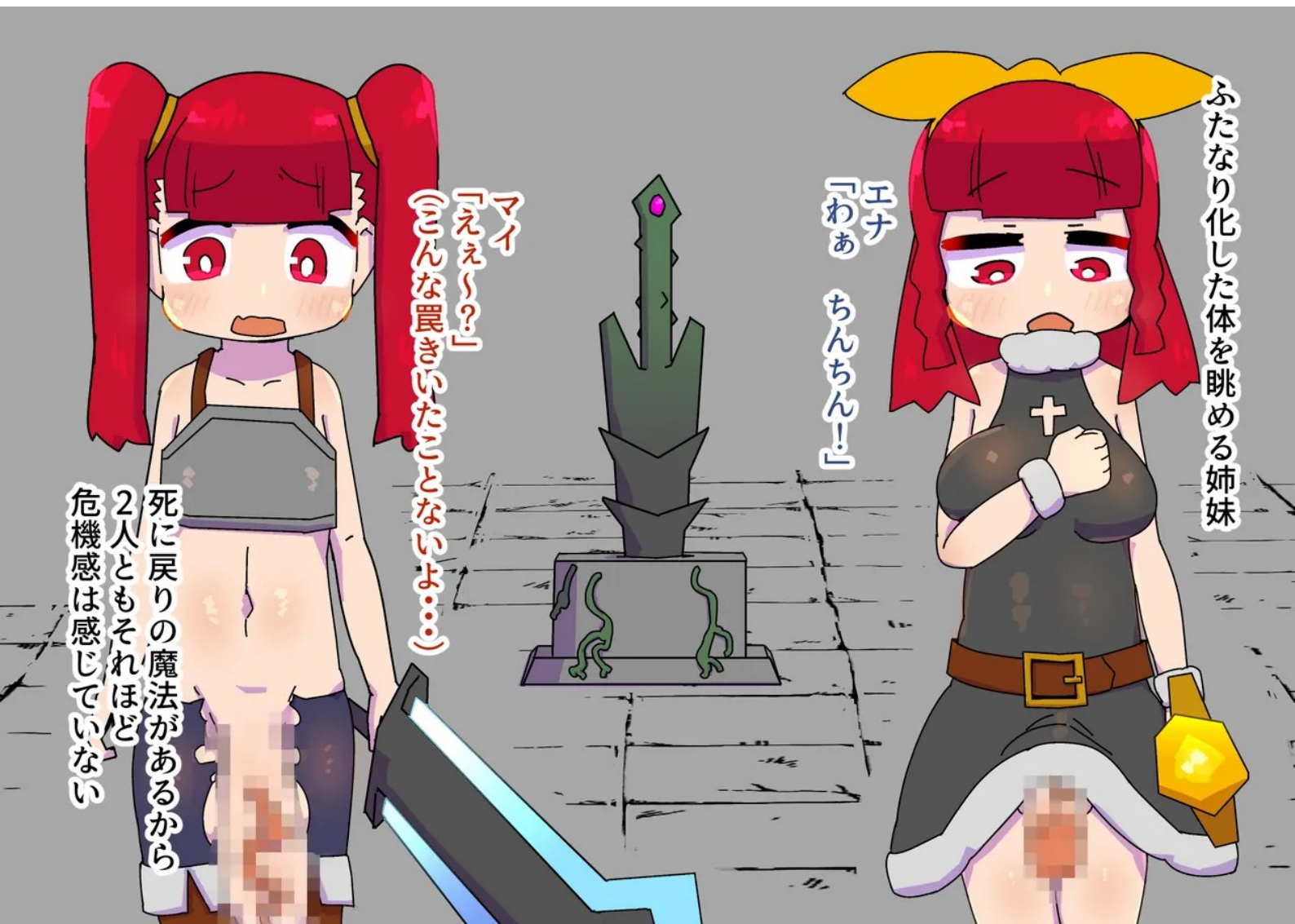


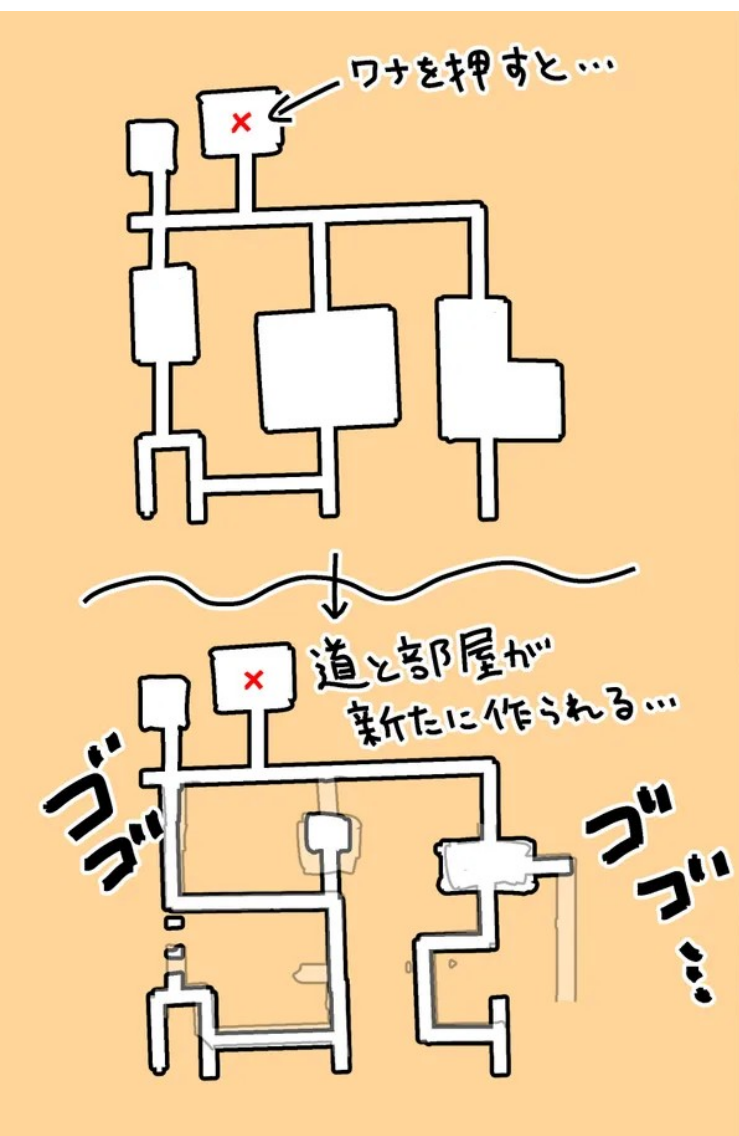
ふたなり化した体を眺める姉妹

エナ
「わあ
ちんちん！」

マイ
「ええ〜？」
（こんな異変したことないよ…）

死に戻りの魔法があるから
2人ともそれほど
危機感を感じていない





エナ
「わたくし
提案があります
マイ隊長！」



マイ
「はいはい
聞きますよ」



エナ
「適当にきた方向かなって道を
戻ったらいいと思います」





あたりに
何かの卵が
大量にある

未踏のダンジョンには
何が
いるか
分からない

それゆえに
最初に調査に入る
冒険者への
報酬が高い

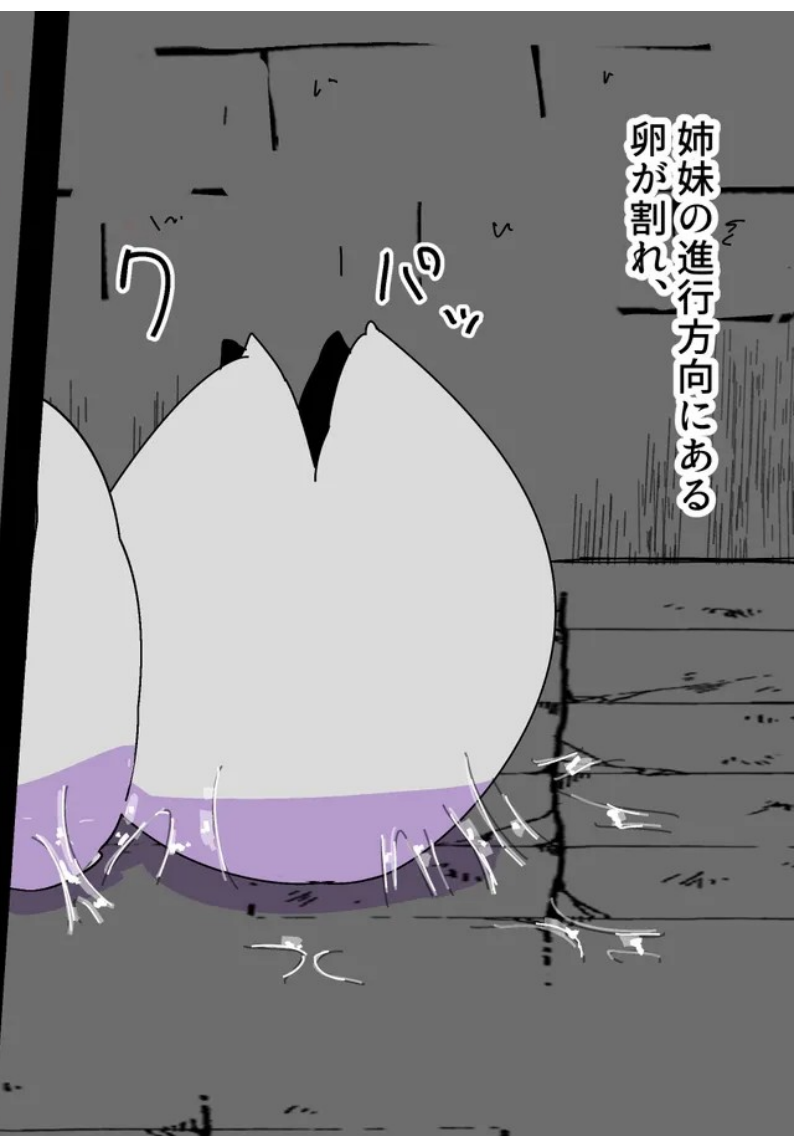


エナ
「変なおいするね」

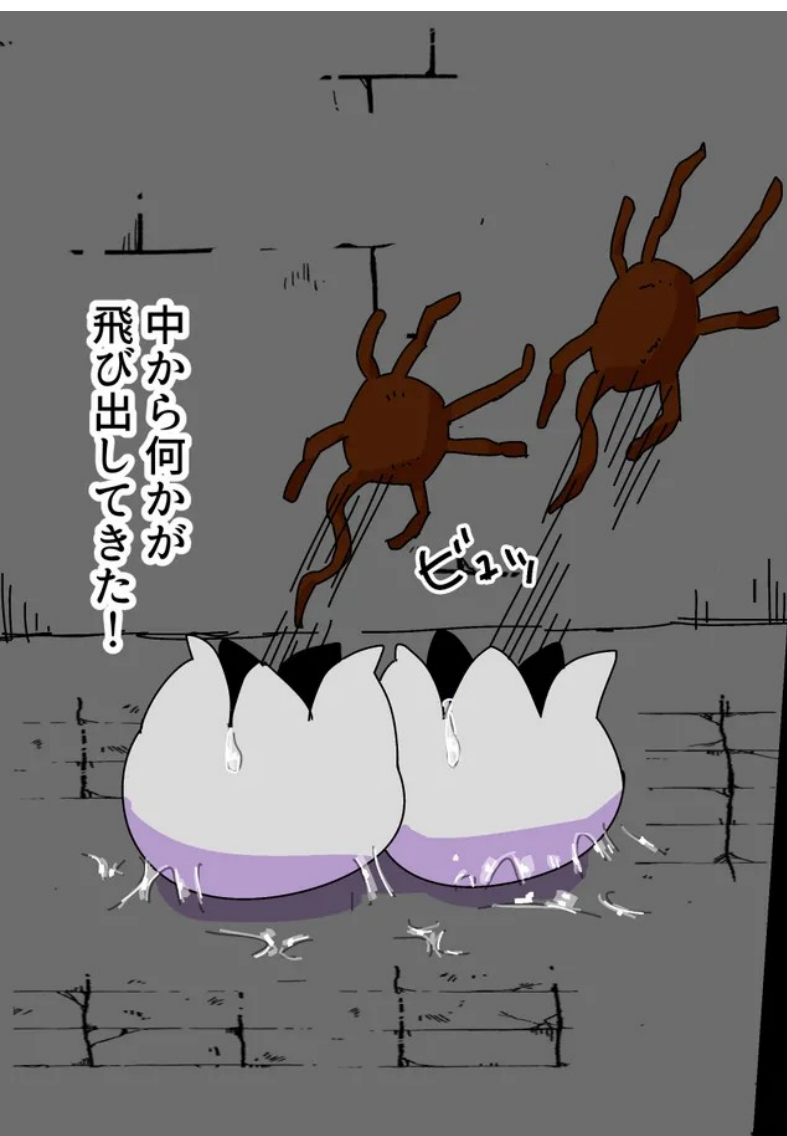
マイ
「……うん 早く抜けよう」

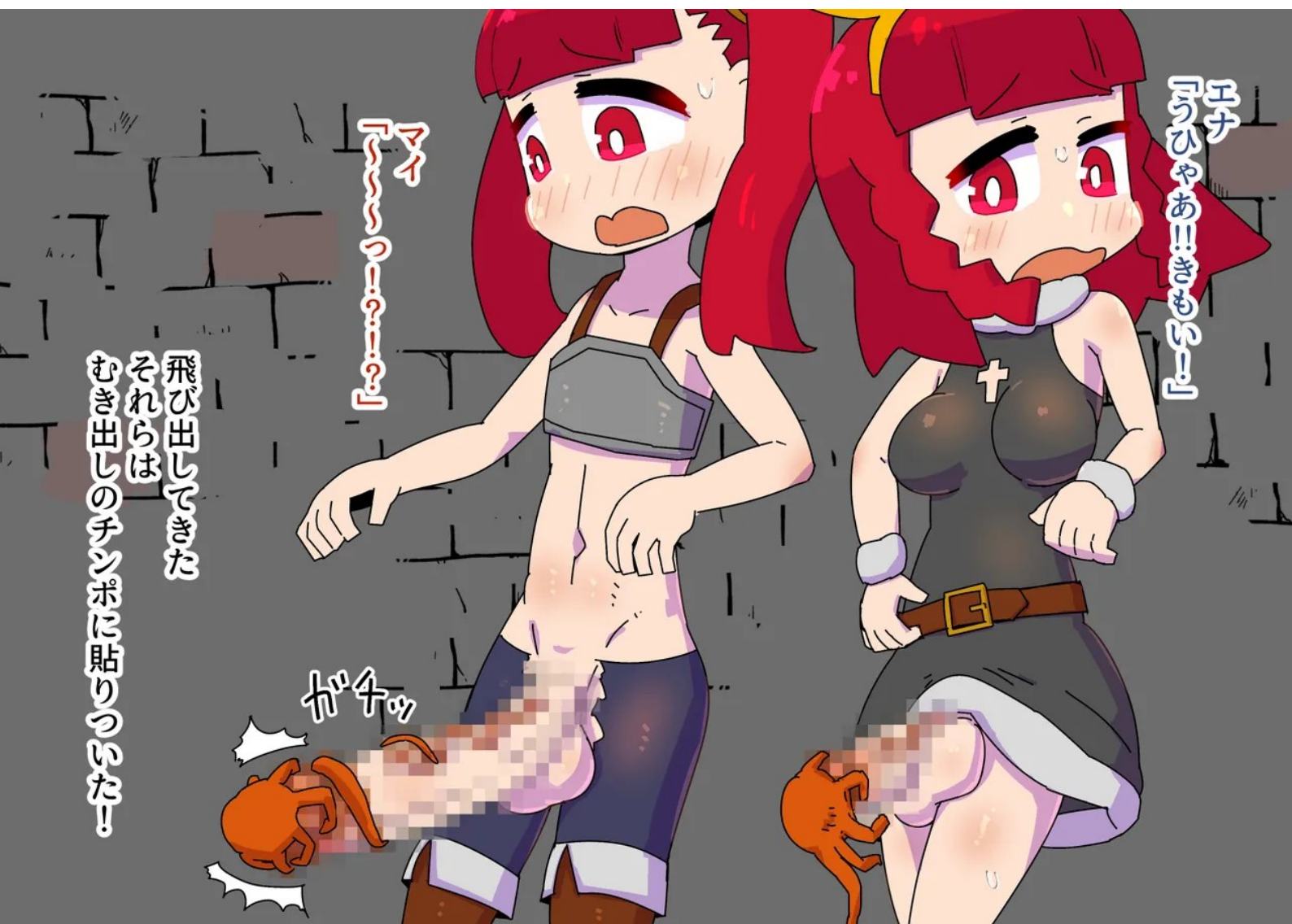


姉妹の進行方向にある
卵が割れ、



中から何かが
飛び出してきた！



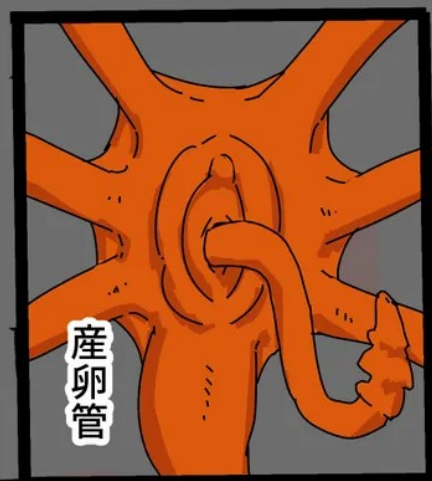


エナ
「うひゃあ!!きもちー!」

マイ
「~~~~?!!?」

飛び出してきた
それらは
むき出しのチンポに貼りついた!

が4ッ



産卵管

マイ
「あぎいー!」

エナ
「ほげえつ!」

振り払う間もなく
尿道から産卵管が
挿入される!







ギィ!!

プ

あ!!!

先ほどの卵が
孵化したのだ

グリュ!!

アッ

アッ

エナは
尿道出産の
快楽に耐え切れず
死亡した...

あ...

あ...

姉妹は
その場から
何とかして
離れたが、
+ 辜丸に激痛が走る

ゴッ

パ

姉の姿を見て、あまりの恐怖に
思わずチンポを握りしめてしまうが…

サァ

出口を求めた
虫の幼体達が
チンポを食い破って
外に出てくる!!

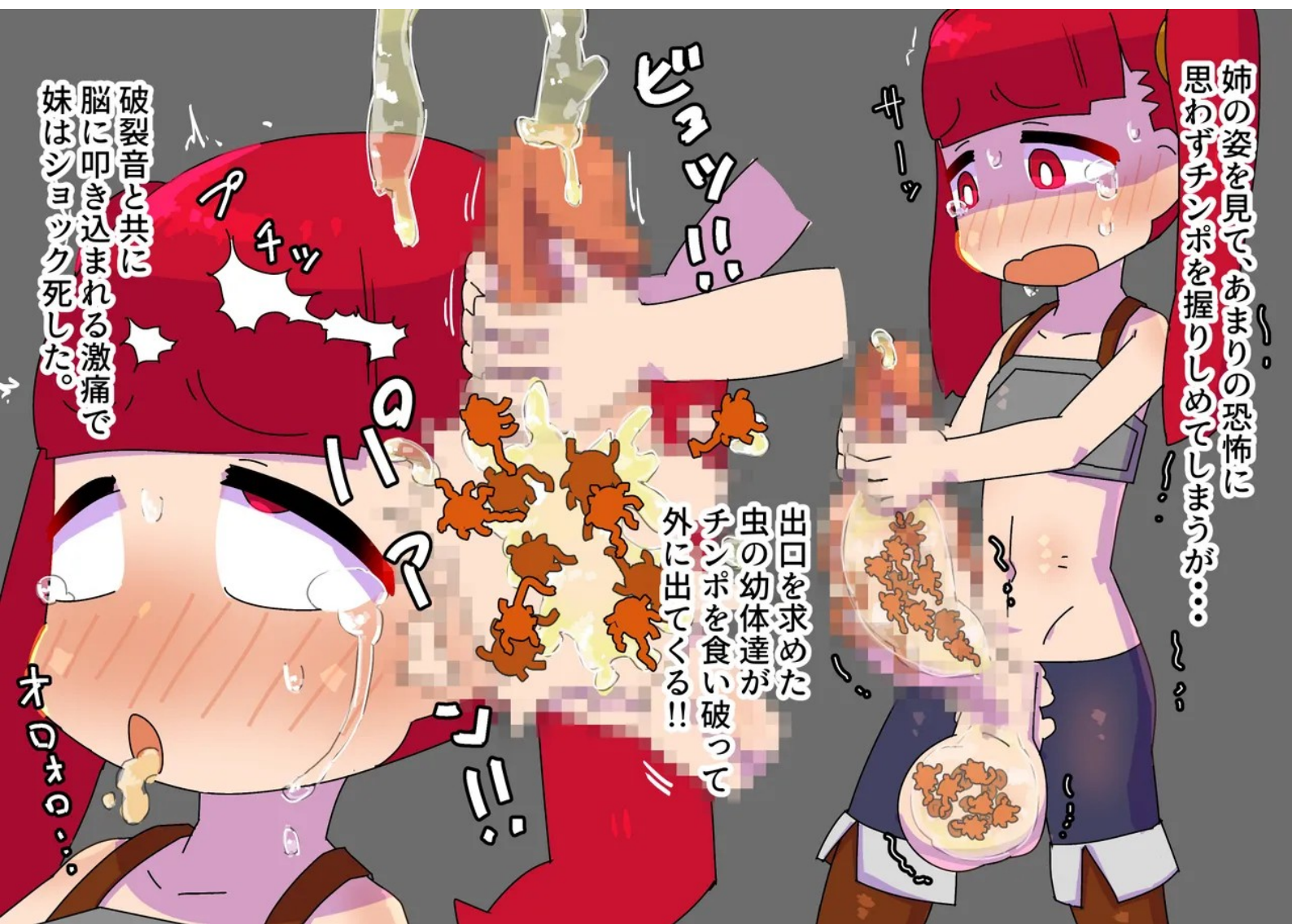
ビュッ!!

ア
キッ

ハ
ア

破裂音と共に
脳に叩き込まれる激痛で
妹はショック死した。

オロオロ…



2人は死んでしまった！

トッサ...

トッサ

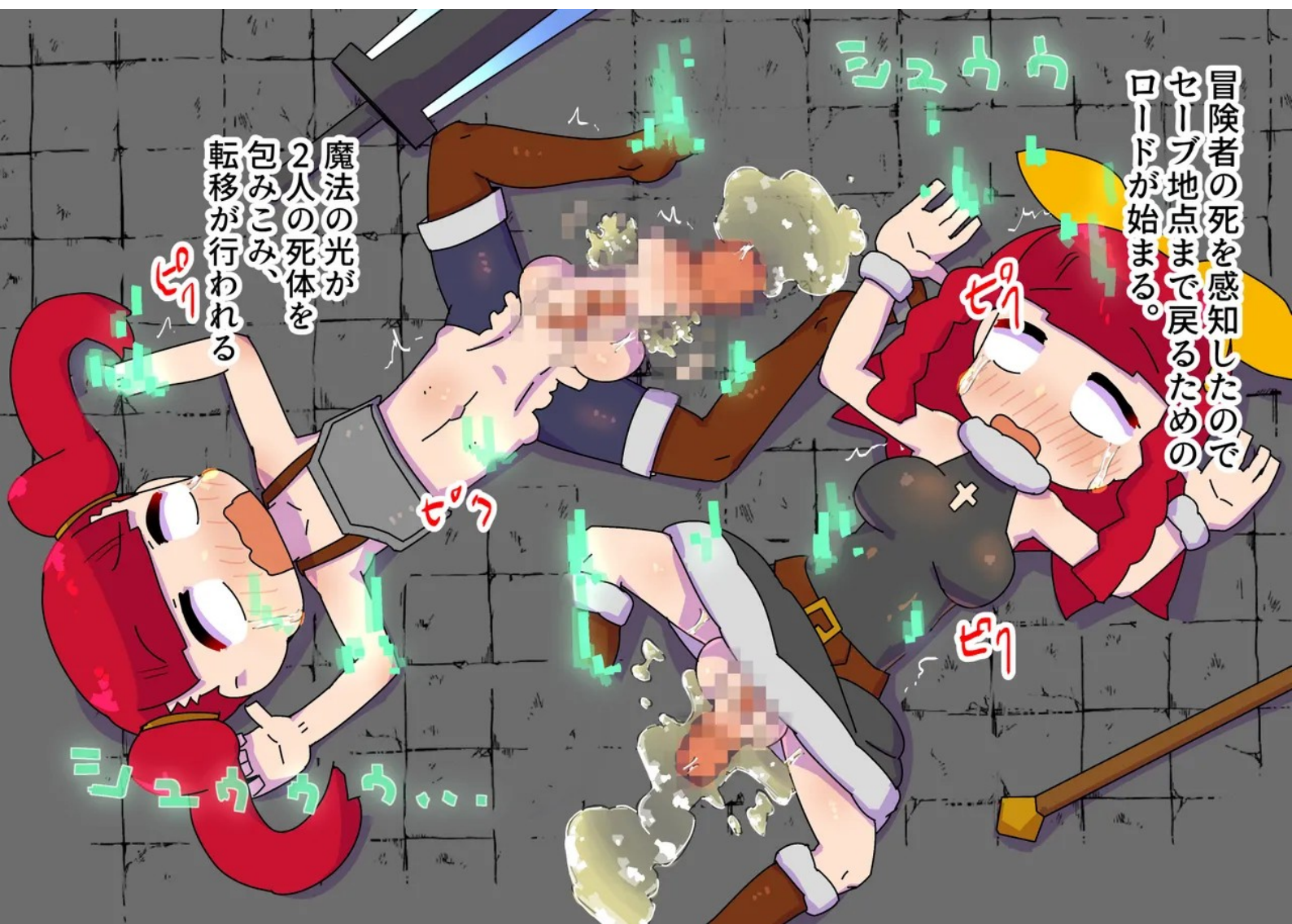


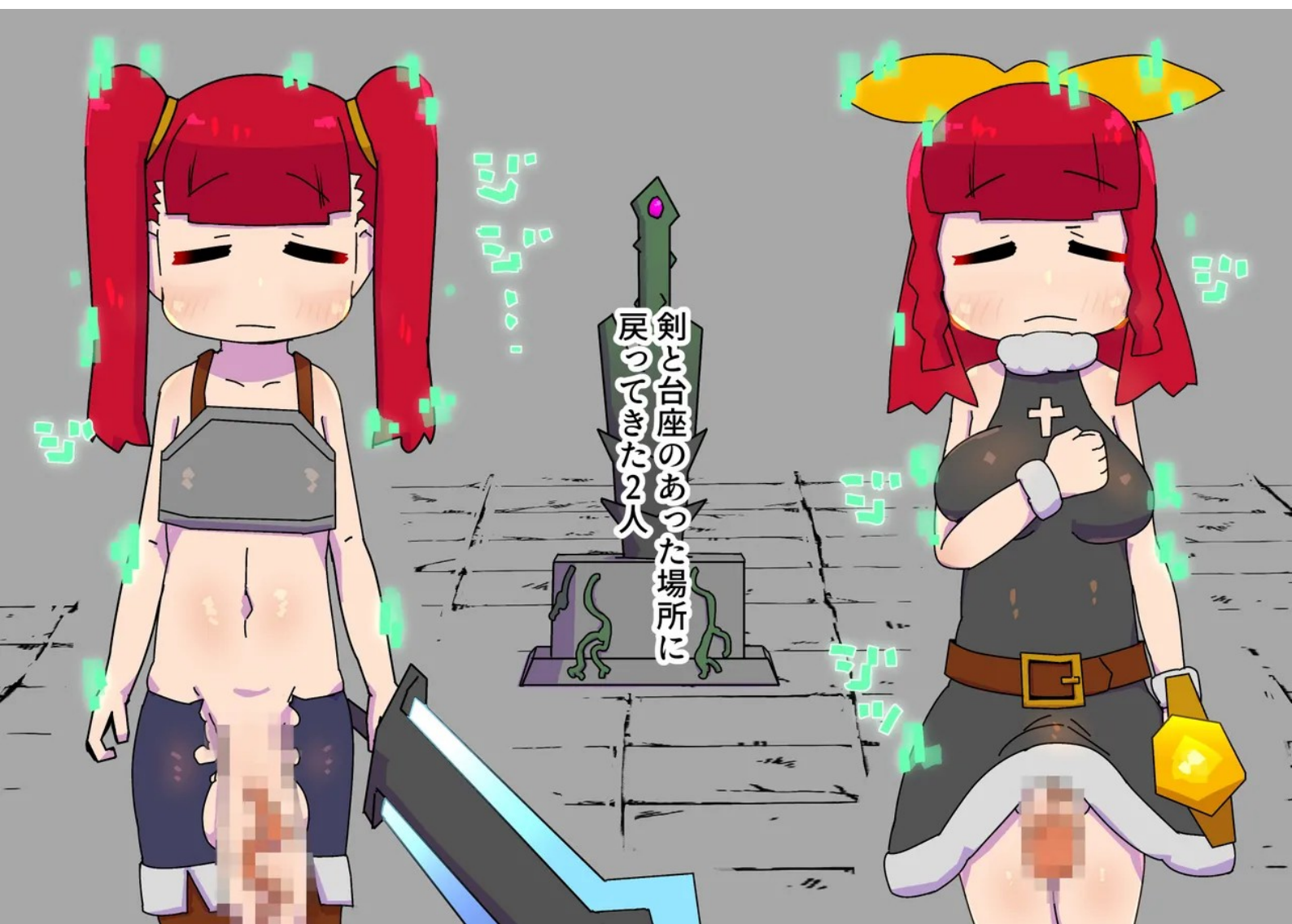
冒険者の死を感知したので
セーブ地点まで戻るための
ロードが始まる。

シュウウ

魔法の光が
2人の死体を
包みこみ、
転移が行われる

シュウウウ...







事態の深刻さに気づく

「えっ、
マイ
セーブ地点が町じゃなくて
ダンジョン内になってる……？」



2人は気づいてなかったが
先ほど剣に触れたときに
セーブされていたのだった



「……」
エナ





エナ

「なんかさつきと違って今度は
道が変わって無いみたいだからさ
別の道にもいってみようよ」

マイ

「うん……」

昔から不安なときは素直になる妹
2人は先ほど選ばなかった道に進む事にした





回数が減り
慎重に進む
2人

壁や天井には
無数の穴が
開いている



空腰を振り失禁と射精を繰り返す。

自分の尿で足を滑らし

近くにあった岩で
強く頭を打ちつけた。





やがて息絶えた。

身体はピクピクとしばらく跳ねていたが、



エナ『.....』

死が感知され
ロードが始まる



大量の媚毒を
注入されてしまい
正気を失う

姉に気を取られていて
後ろからの触手に
気がつかなかった

マイ
「おがぁ
ああっ」

ドッ

ドッ
ドッ

!?

ビーン...

!?

パチ

パチ

パチ

パチ

?

!?

ブッ

おっ
おっ
おっ

興奮状態で
正気を失っているマイは

「壁の穴♡
ゴツゴツしてて
きもちいい♡」

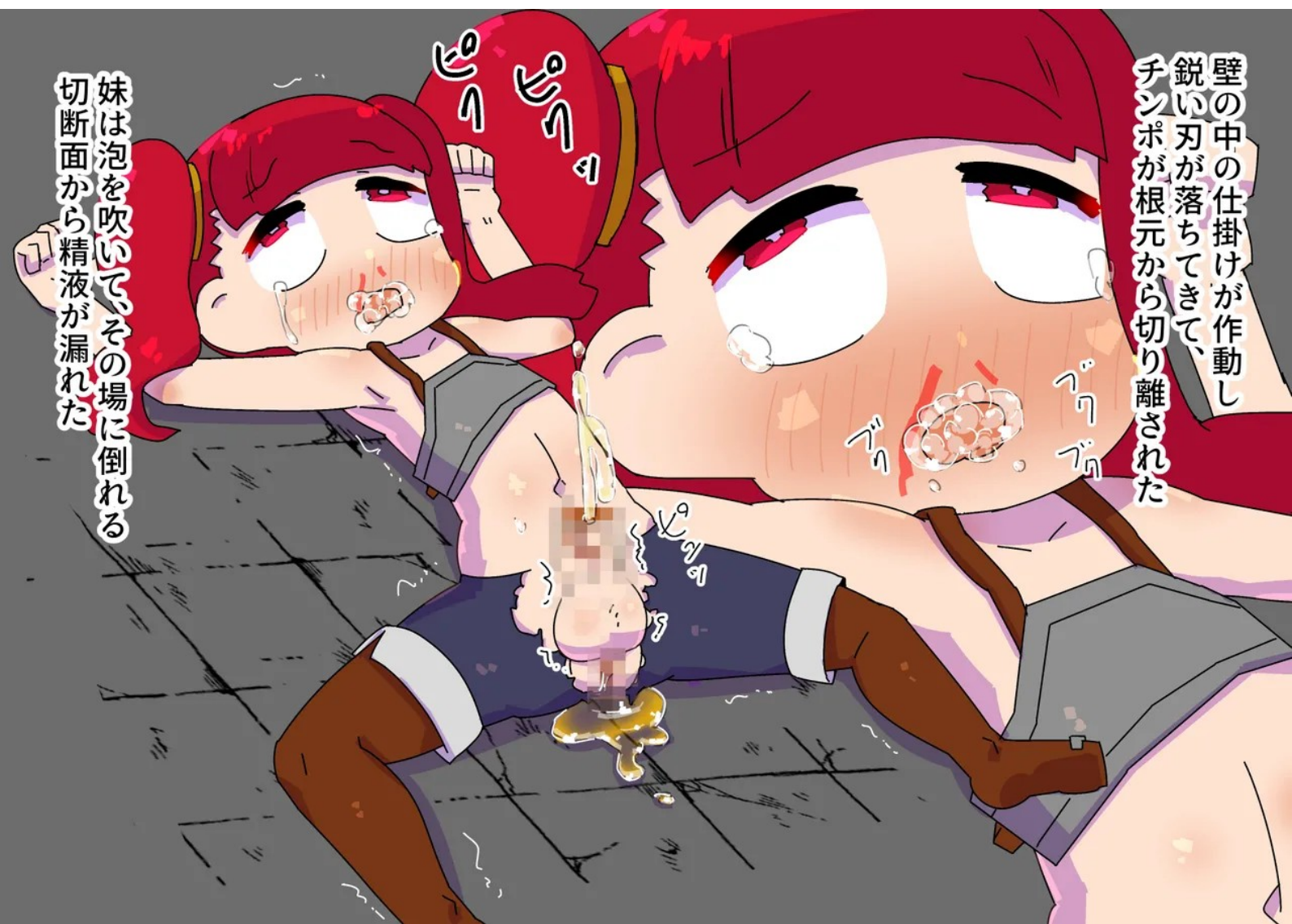
壁の穴に自分の
チンポを突っ込み
ヘコヘコと
腰を振り始めてしまった！

ズポッ



壁の中の仕掛けが作動し
鋭い刃が落ちてきて、
チンポが根元から切り離された

妹は泡を吹いて、その場に倒れる
切断面から精液が漏れた



そのうち
精液も吹き上がらなくなり
やがて息絶えた

マイ
「ooooo」

転移の光が身を包み
ロードが始まる



再びセーブ地点の
剣と台座のあった場所に
戻された三人



...

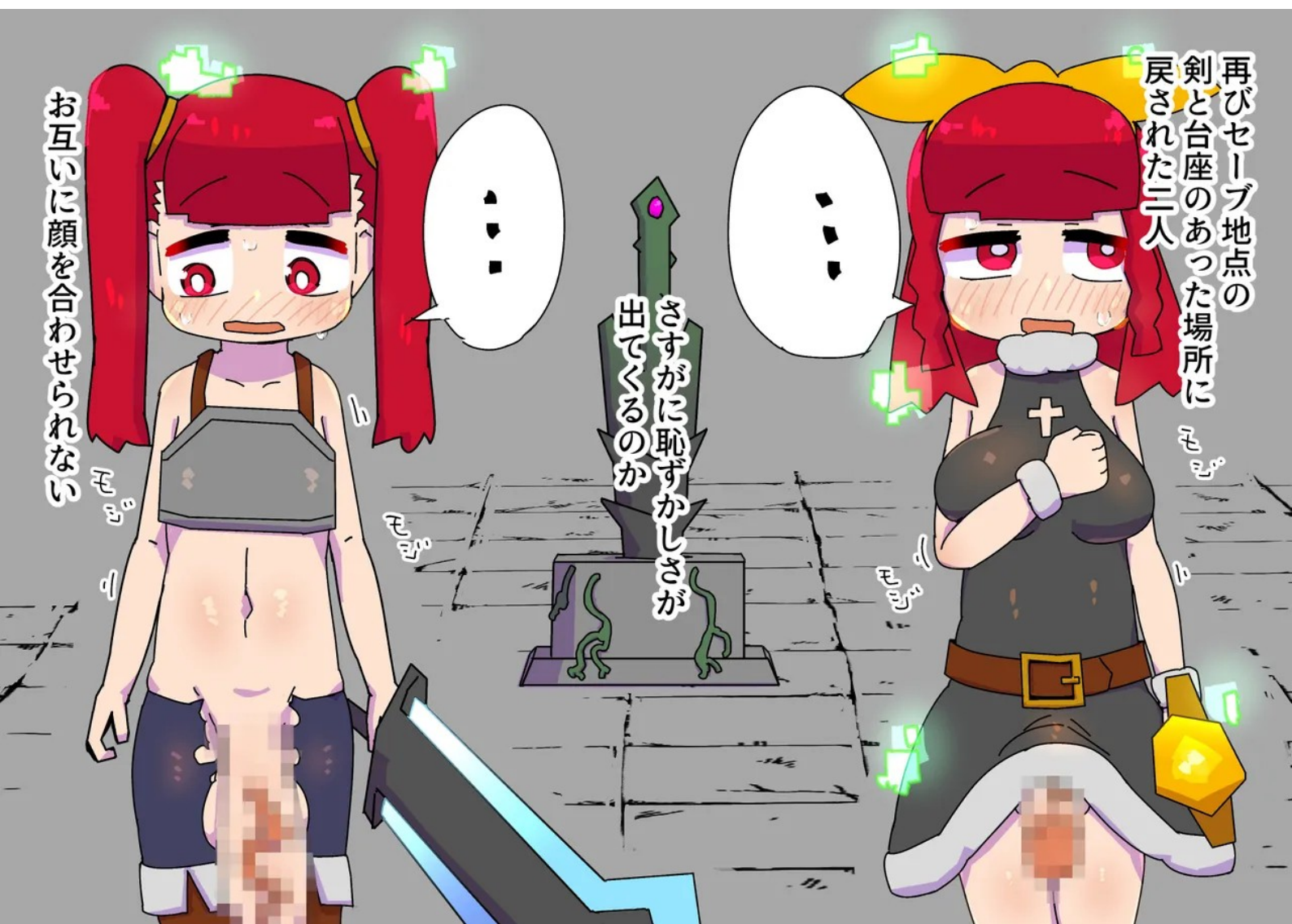
さすがに恥ずかしさが
出てくるのか



...



お互いに顔を合わせられない









エナ
「んちゅっ♡ちゅっ♡んれろお♡」
(惚けた顔かわいい♡すき♡すき♡)



マイ
「~~~~♡」
(なんでこんなことに♡
わかんない♡わかんない♡
エッチできればもうどうでもいい♡)







エナ
(うあ♡チンポからダラダラ涎でてる♡
腰へこへこ♡はああ♡ううう♡)

マイ
(やばいよお♡腰とまらない♡
姉妹なのにい♡腰振るのとまらないよお♡)



エナはじつとマイの目を見つめ
声に出さず口を動かした

お互いの脳は興奮で
熱暴走を起こしている

沸騰した脳で
この提案は断れない

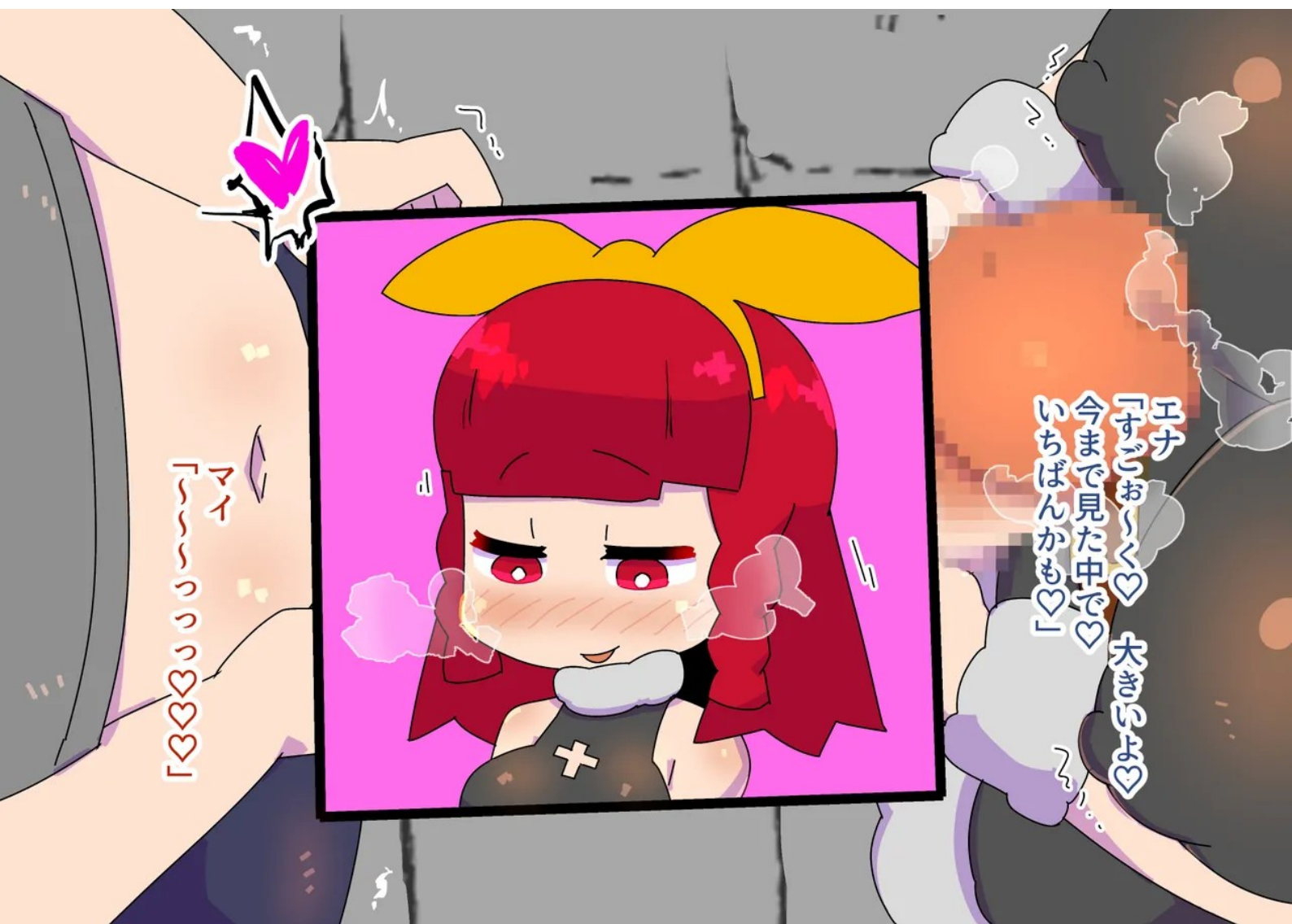
この先の快楽を想像し
余計に熱が上がる



マイ
「ね、ねえ...
私のってそんなに
おっきいの...?」
男の人より大きいって
ほんと...?」

エナ
「ん〜♡」





マイ
「♡♡♡♡♡」

エナ
「すぐお〜く♡ 大きいよ♡」
今まで見た中で
いちばんかも♡



回想



肉や香辛料を煮込んだもの
姉の手料理はともにおいしい



仕事から帰ってきた姉は
そのまま2人分の食事を作る

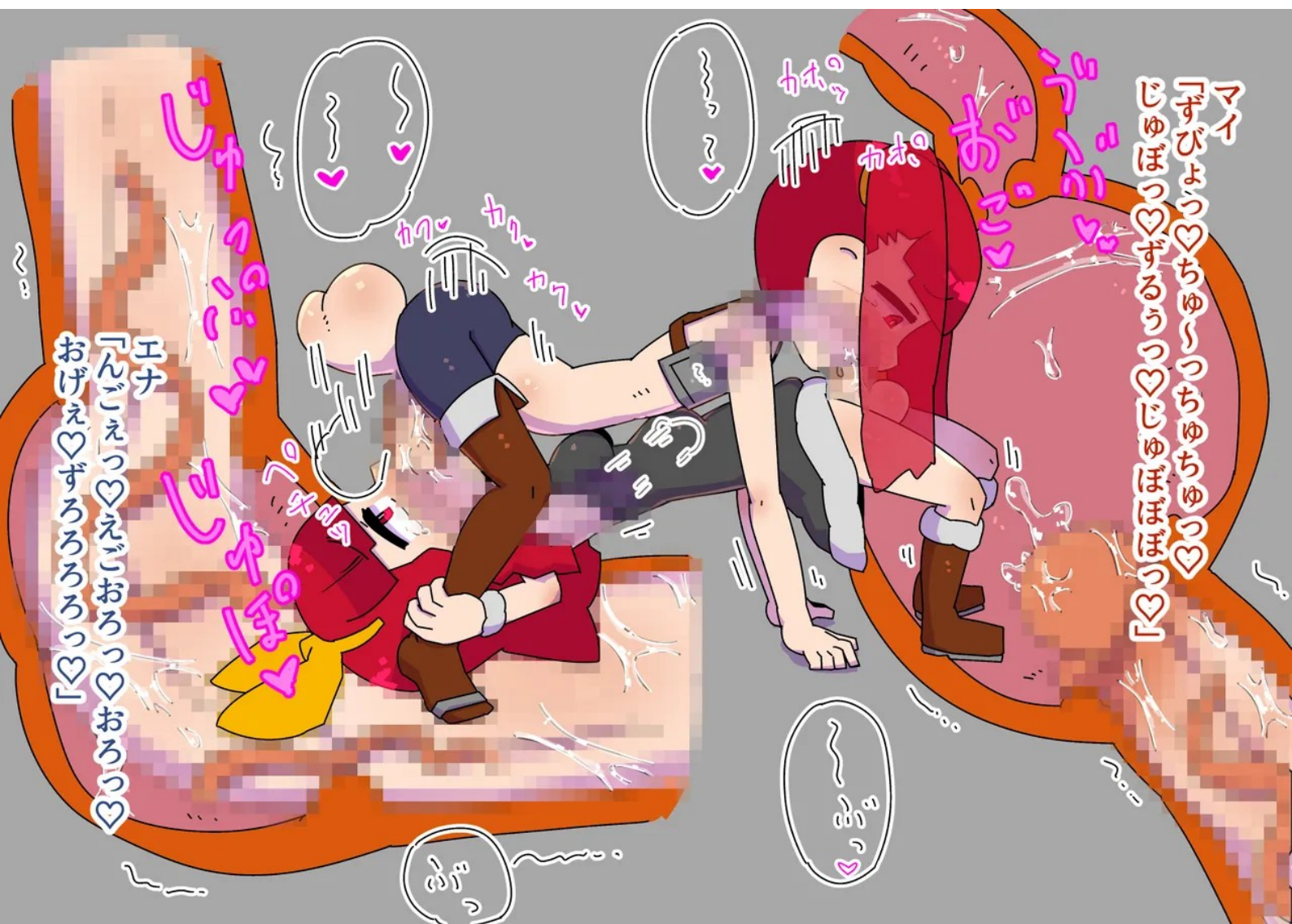


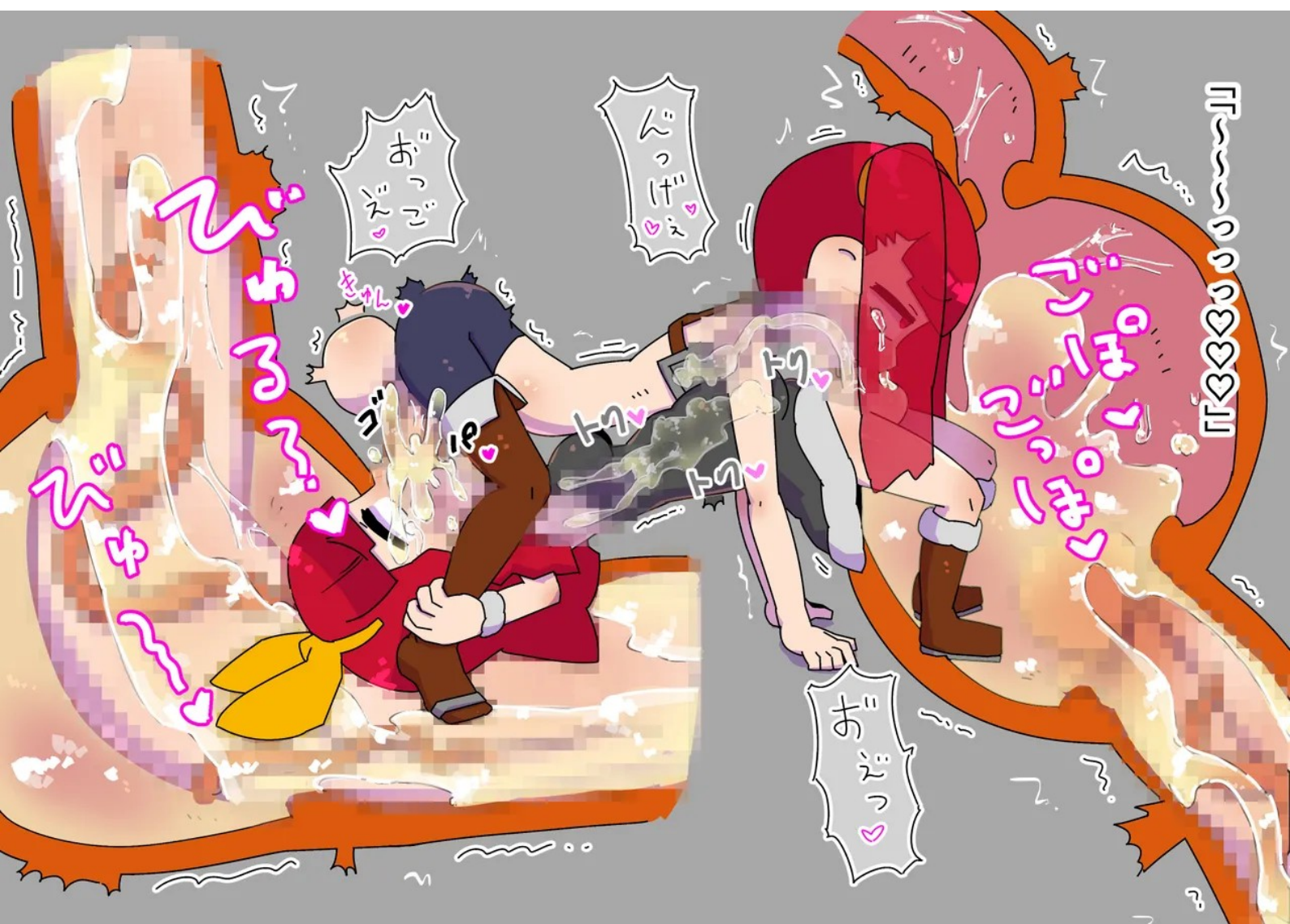
お互いが別々に
生活費を稼いでいても
食事は一緒にとるようにしていた

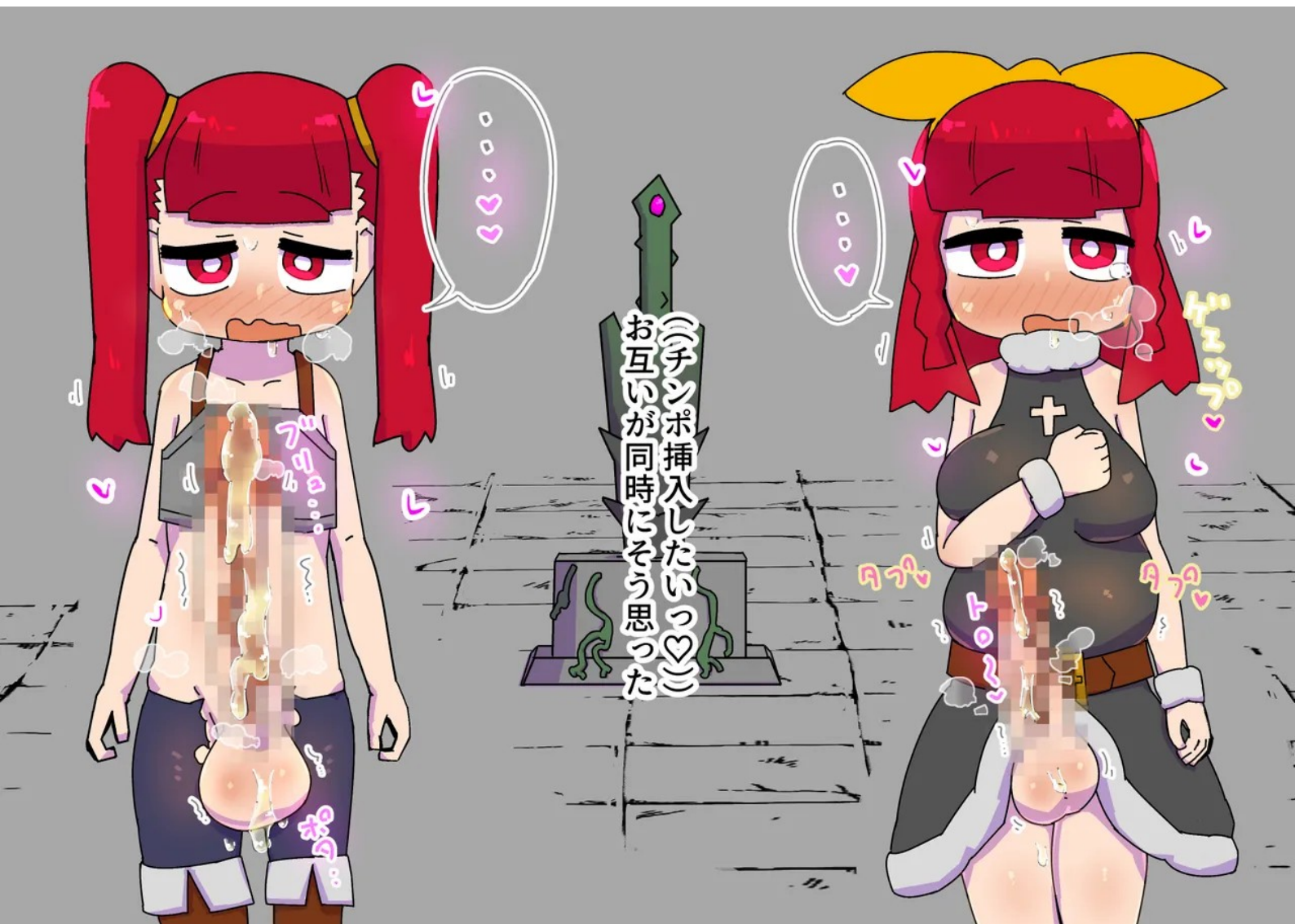


妹は姉の手料理を
喜んで食べ、
その様子を姉は
嬉しそうに眺める
これが姉妹の日常だった。

うめ
うめ







息が荒くなる2人
もちろん妹にセックスの経験は無い
つまり童貞、初めての挿入

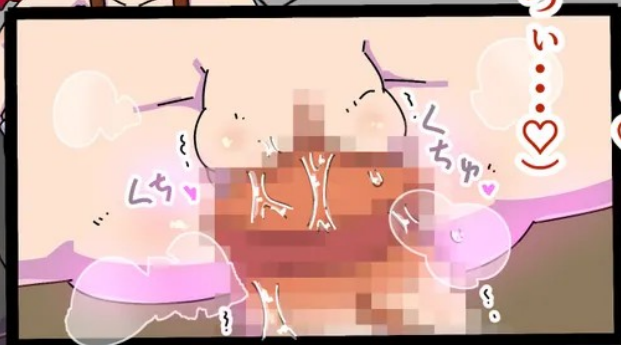


妹の興奮と緊張が
姉にまで伝わり、
お互いの体がこわばる。

マイ
「い、いれるよっ……っ♡
こっっ?」
(うわっ あっつい……♡)

エナ
「んっ
大きいから♡
ゆっくり……ね♡」

やっやっやん♡





マイ
（ふあ〜っ♡お姉ちゃんの中
あったかあ〜っ♡い♡♡♡）

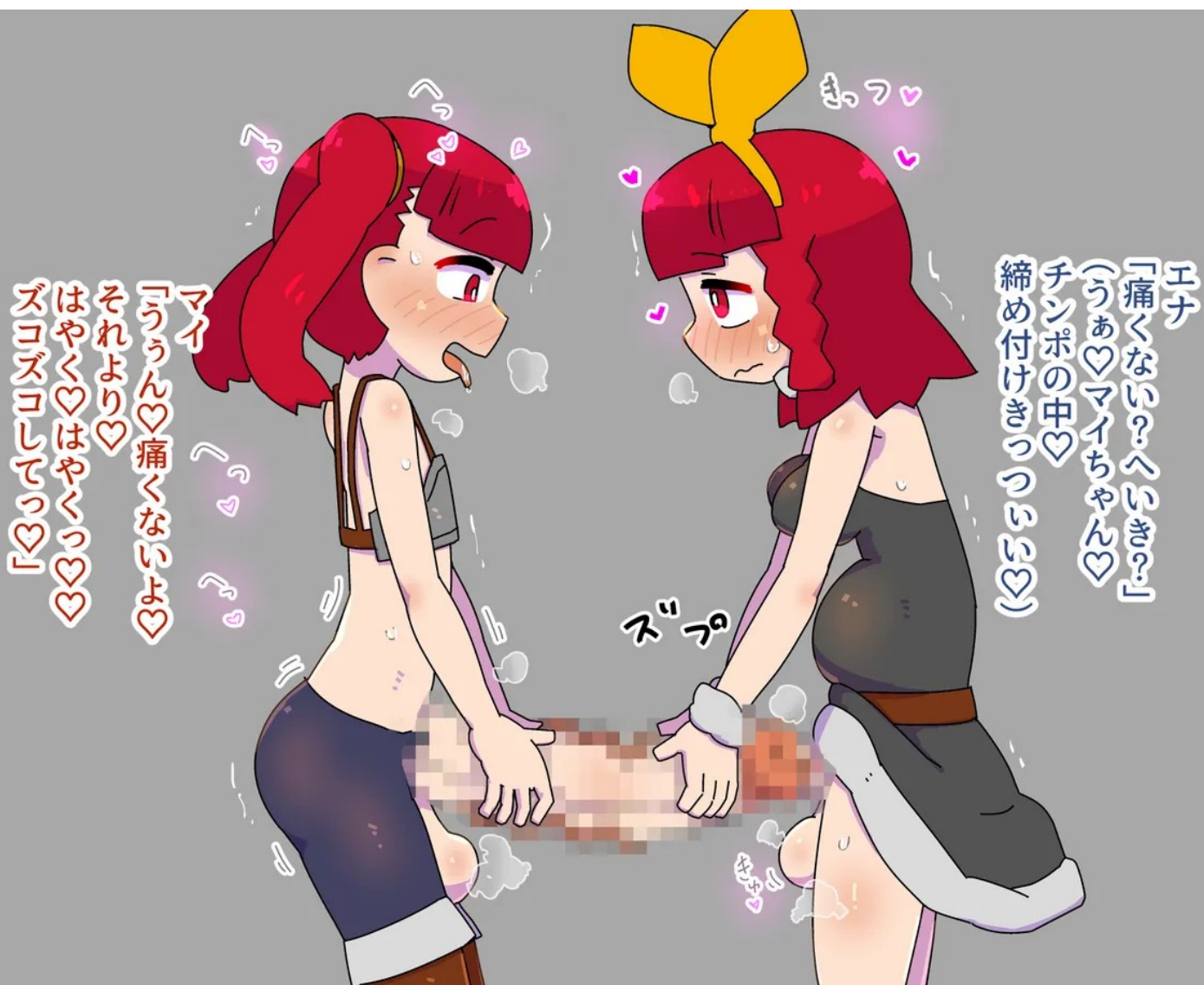
ふあ〜っ♡
ほあ〜っ♡
おっほ♡

うほ〜っ♡
ほあ〜っ♡

ドキッ♡
ドキッ♡
ドキッ♡

マイ
（こ、腰が勝手に
うごく〜っ♡♡♡）

あ〜っ♡
ふあ〜っ♡
ほあ〜っ♡

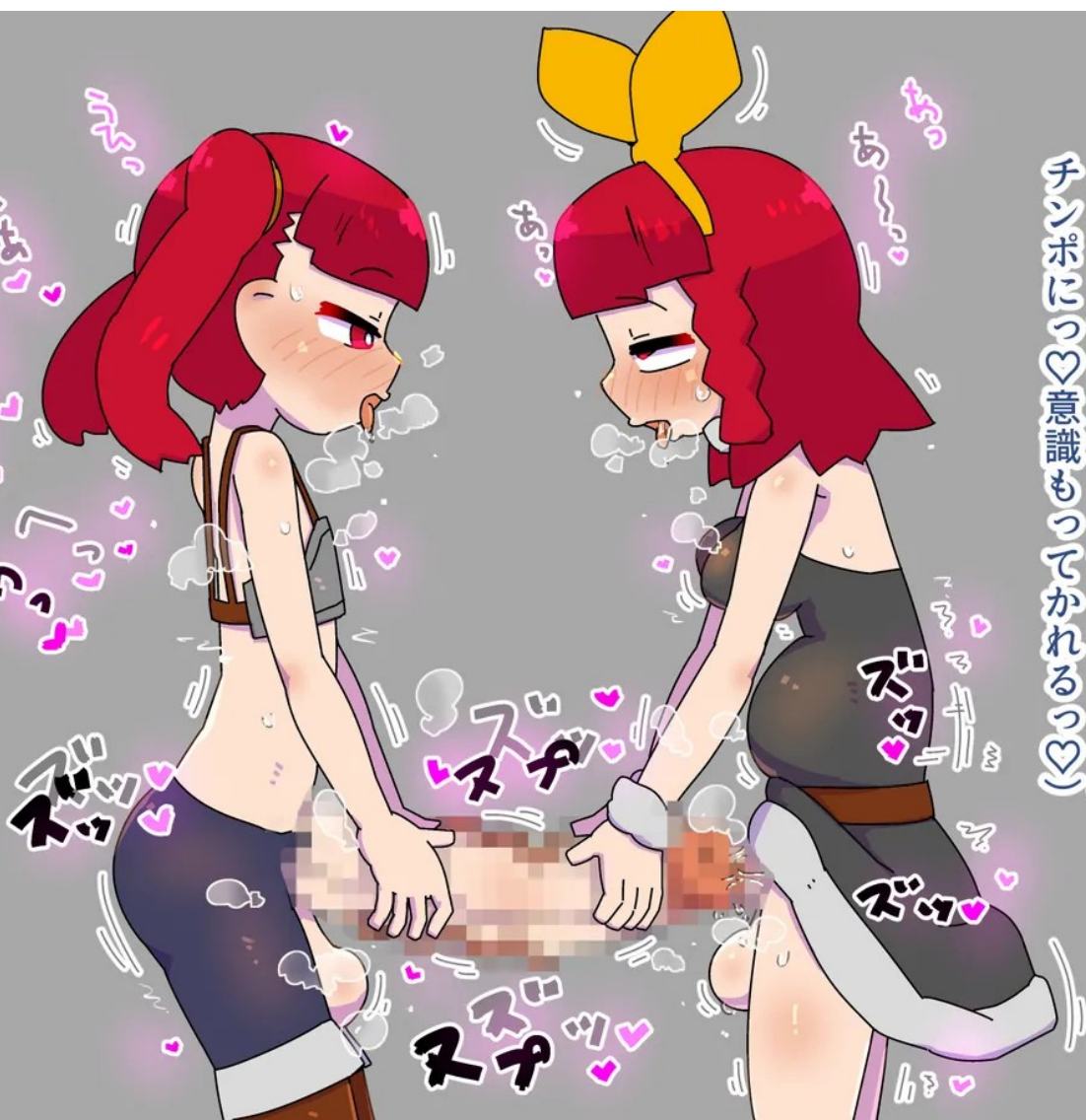


エナ
「痛くない?へいき?」
「うあ♡マイちゃん♡
チンポの中♡
締め付けきつついい♡」

マイ
「ううん♡痛くないよ♡
それより♡
はやく♡はやく♡♡
ズゴズゴして♡」

ス"ッ

エナ
(妹チンポっ♡マンコみたいにいっ♡
だめえっ♡チンポオッ♡オチンポッ♡
チンポにっ♡意識もってかれるっ♡)

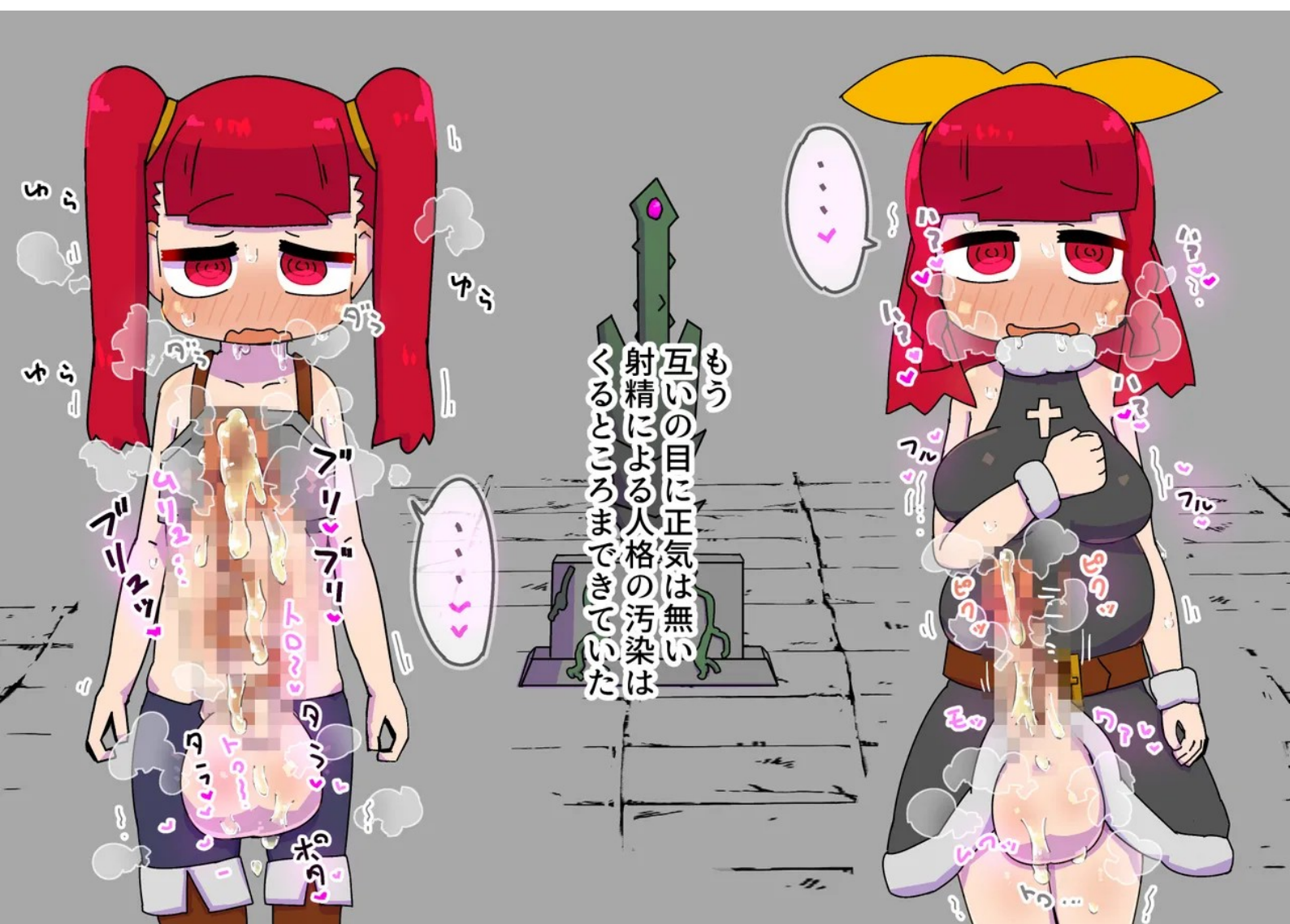


マイ
(えひっ♡チンポでチンポズボズポオッ♡
ズッコズコ♡♡♡中をゴリゴリッてえ♡♡♡)

エナ
(あつ 私い...♡
これっ♡チンポからっ♡
私がでていつてるっ♡♡♡)



マイ
(お姉ちゃんのあつたかいやつ♡
きてるっ♡チンポのなかお姉ちゃんので
いつっぱいっ♡♡♡)



ゆっくりとお互いの
愛を確かめるように
くちづけ

先ほどとは違う
落ち着いた様子で
2人だけの世界に浸る姉妹



体温が溶け合うほど長く
抱き合っていると・・・

部屋のどこから音がした

融合の魔法陣



発動すると
角違った物同士
くっついて
混ぜり合う



時間経過で発動する罫、
融合の魔法陣が
2人の足元に展開した

触れた物同士がくっついて混ぜり合う
2人は今密着してキスに夢中だ

気づいたときにはもう遅い
妹はこれが
融合の魔法だとわかるが



行動不能に近い状態の
2人には対処が
出来ないものだった。

ぐにぐにと体が混ざり合ってゆく

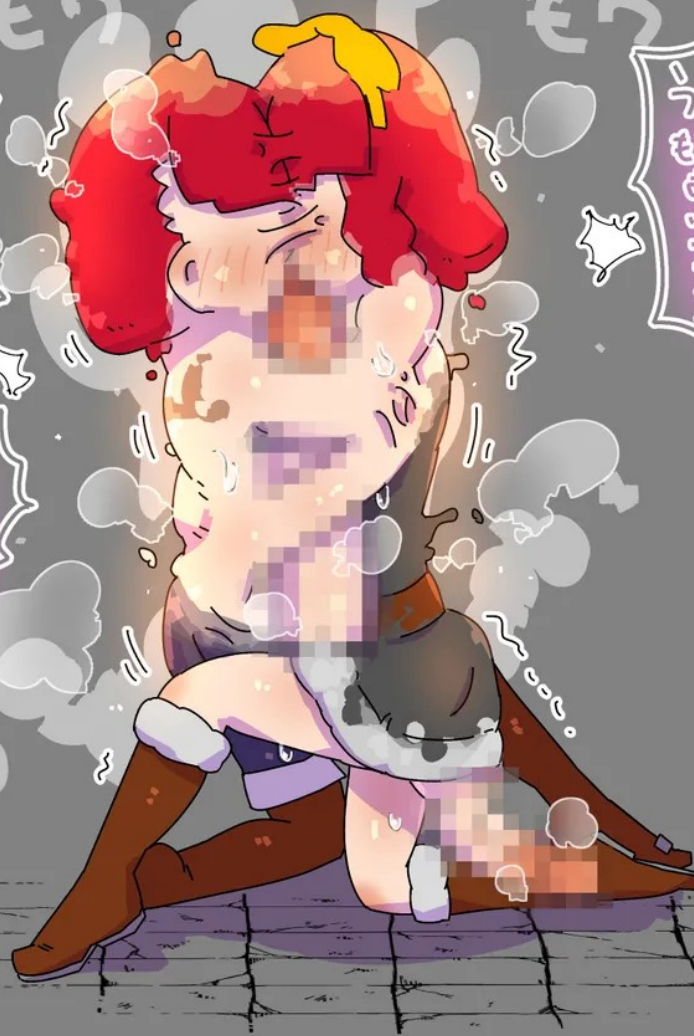
2つの肉体の
体温が合わさり
熱気を上げる

うもあ……っ

ほもあ！！

もあ

舌と舌が
顔面と顔面が
皮膚と服が
内臓、血管、脳、神経がくっついて
取り返しのつかない状態になってゆく



混ざりあつた2人の姿は
まるで大きな陰茎であつた



言葉を発することが
無くなった代わりに
プルプルと体を震わせる
巨大なチンポ

2人は体をぶんぶんと
振り回しながら射精した



台座の剣に精液が付着し、
セーブのアイコンが再びでしまった



マイ
(ここでモンスターとして
生きよう...? そんな...
そんなのって...)

エナ
(セーブが行われたみたいね。
もうこの体じゃ町に戻っても
退治されるだけ、人間に戻れないなら)

マイ
(ぷるぷる...、これから...ずっと、
ここで...? ぷるぷる...)

エナ
(そうだよ。ここでずっと、射精しながら)



マイ
(それは...)

エナ
(このまま気持ちいい事して過ごそうよ
もつと射精すれば、余計なことも
考えなくなるよ。さあ...)





(射精と融合による
精神汚染の影響でお互い
おかしくなってる…)

私もこの快楽に溺れたいって
気持ちを抑えられない♡

ここに来る前の私たちの心は
もうほとんど残っていないんだ♡

次から次へと冒険者が
ダンジョンに入ってくるので
罠はどんどん勝手に発動した



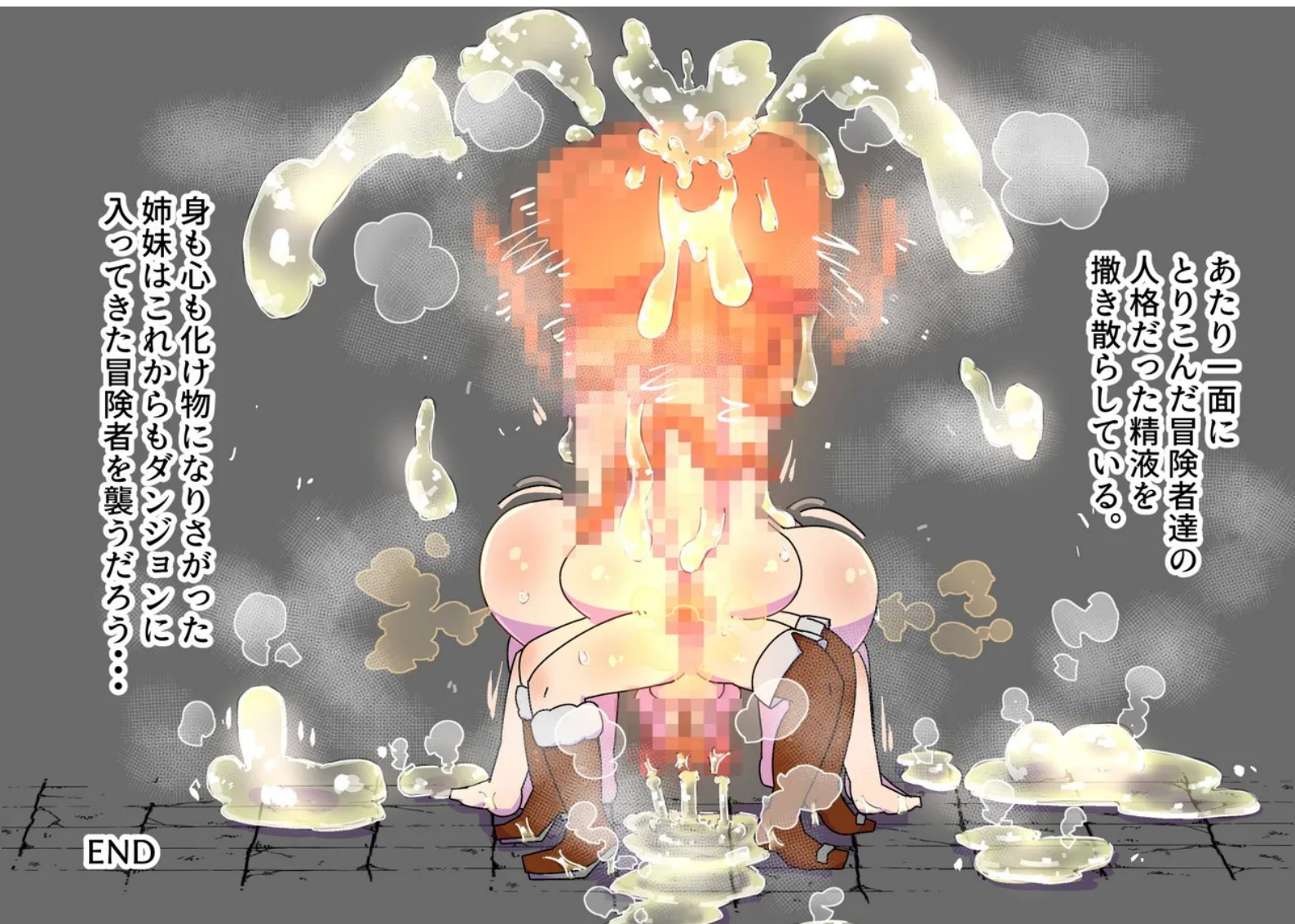
姉妹は台座の部屋にきた冒険者を
片っ端から取り込み
さらに禍々しい
異形の化け物となつていった



あたり一面に
とりこんだ冒険者達の
人格だった精液を
撒き散らしている。

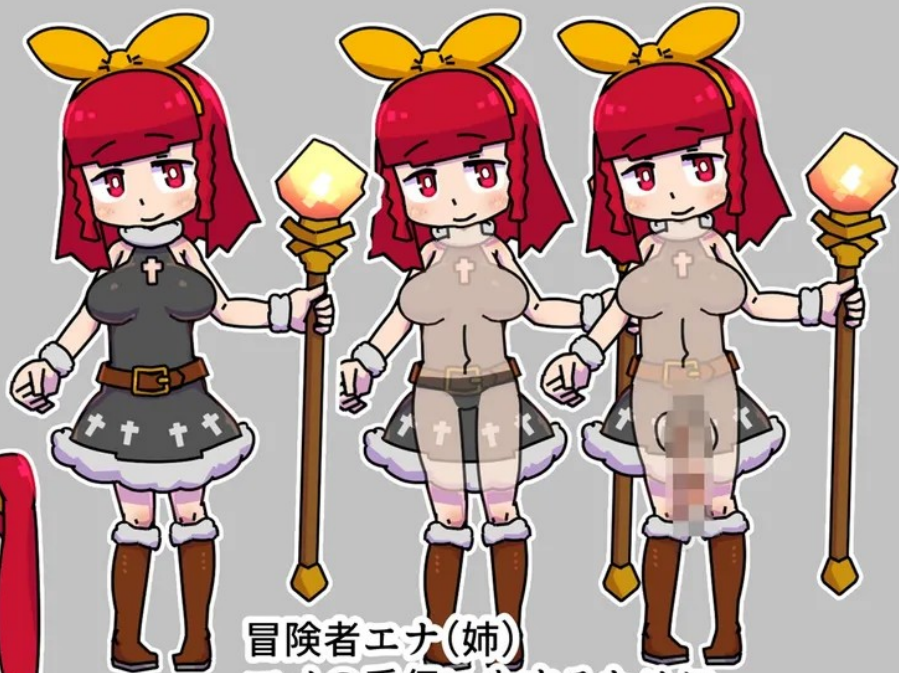
身も心も化け物になりさがった
姉妹はこれからもダンジョンに
入ってきた冒険者を襲うだろう…

END



冒険者マイ(妹)
姉の前ではしっかり者
姉以外とはほとんど
しゃべれず
人見知り、
町で働くのが嫌になり
冒険者となった

性格
・内気
・真面目



冒険者エナ(姉)
マイの手伝いをするために
冒険者になった、それ以前は
夜の酒場などで接客をしていた

性格
・楽天的
・落ち着いてる

融合の反法陣

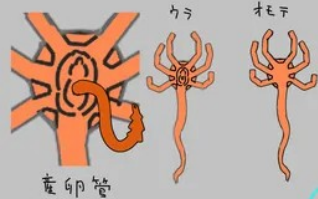


ダンジョンにあった
魔方阵

発動すると
角獣と角獣の物同士
くっついて
混ざり合う

新種の魔物

カニのようでもあるし
クモにもみえる、すばやい



呪いの剣
触れると
周囲の人間に
男性器を付与
台座からは
抜けない